



組合の売り ~大きな2つの目的~



「人を育てる」とは、
貴社で働き続ける人財を創る。
貴社の理念に向かって、仕事をする社員の育成。
チームをまとめる役割を担う社員の育成。
プロの意識を持つ社員を増やす。
外国人労働者へ指導できる社員を創る。
など。



「経営する」とは、
しっかりと利益を出していくということ。
体制の見直し、加算の取得、そのための必要書類の整備。
実地指導に向けた内部事前監査の実施。
資金調達。
必要物品を安く購入し、コストを抑える。
など。

組合がやっていくこと



各法人理念を体現できる人を育成。
プロとしての意識を持たせる。
お金を稼ぐということを理解させる。
この国の未来を示し、未来を見据えてスキルアップさせる。
キャリア段位制度の体制強化
など



外部企業や外部組合に向けての「介護は突然やってくる」セミナーの実施。突然やってくる介護に対して、どんな準備をすれば・・・など、施設サービスの種類やリアルな毎月の費用、在宅サービスの種類や費用、家族の負担などを提供する。
その他接遇、認知症、施設サービスなどの勉強会や講演会の実施など。



特定技能1号の在留資格を持つ外国人の受け入れ・事業所への紹介。
インターンシップ制度を使用した人材紹介
セラピストの派遣による加算要項への対応
など



施設等で使用する備品・消耗品・物品などを組合を通して共同購入することでコストの削減を図り、収益の改善に繋げていく。
例 オムツを共同購入など



毎月の請求作業や加算書類、実施指導対策などの必要時に、専門家を派遣して、必要な時だけお手伝いするサービス。
固定費用がなく、しっかり請求上げて売上を確保する。



介護・福祉業界の現状は、国民の高齢者人口の増加に伴い、需要が拡大する反面、介護保険料の引き下げに加え、従業員確保の困難性が経営を圧迫しています。こうした厳しい経営環境の中、介護事業者が生き残るためには、無駄なコストの削減を図るとともに、安定した従業員の確保を図り、経営力の強化・向上に取り組むことが必要となります。

このような現状を踏まえ、県内各地で老人介護・福祉事業を行う6社が集まり、共通する介護資材等の共同購入、経営者・従業員を対象とした教育研修等を行うとともに、介護事業者・団体を通じた講習会の共同受注を行うことにより、組合員の経営基盤を強化するため事業の共同化に取り組むに至りました。

目的

本組合は、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、もって組合員の自主的な経営活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ることを目的とする。

組合員の資格

本組合の組合員にたる資格を有する者は、次の各号の要件を備える小規模の事業者とする。

- (1)老人福祉・介護事業を行う事業者であること
- (2)本組合の地区内に事業場を有すること

出資金

- (1)出資1口の金額は、10,000円とする
- (2)組合員は、3口以上持たなければならない。
- (3)出資の払込みの方法は、一時に全額を払い込むものとする。

経費の賦課及び徴収方法

均等割 各組合員につき月額10,000円とし、年額120,000円を原則として一括徴収する。

お 問 い 合 わ せ

会社名		
ご住所		
ご担当者	例) 総務課 静岡 太郎など	
ご連絡先	TEL	FAX
お問い合わせ内容		